

第 20 回 NCC-URM 全国協議会のご案内

主の聖名を讃美致します。

第 20 回 NCC-URM 全国協議会を、下記のように開催致します。

現在、「経済至上主義」は日本においても、経済格差・社会的弱者の切り捨て・貧困問題等を拡大させています。その影響は特に、非正規労働者や外国籍の移住労働者等とその家族の生活を直撃しています。

また、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災における福島原発事故は、私たちに自然との共生とライフ・スタイルに対する価値観の転換を促しています。

今回の協議会では、地域での地道な URM 活動の取り組みを共有するとともに、東日本大震災におけるキリスト教会のかかわりを検証し、今日における宣教の課題を明確にしていきたいと願っています。

ご多忙のこととは存じますが、ぜひご参加ください。

【 開催要項 】

- 主 題：**「共生社会への宣教課題 ―震災・原発・平和・社会的弱者」
- 日 時：**2012 年 3 月 18 日（日）～20 日（火）
- 場 所：**大阪 YWCA（大阪市北区神山町 11-12 Tel 06-6361-2955）
＜宿泊：シングル＞ 山西福祉記念会館（Tel 06-6315-1868）
- 主 催：**日本キリスト教協議会都市農村宣教（NCC-URM）委員会
- 後 援：**KUIM（関西キリスト教都市産業問題協議会）
- 参 加 費：**¥25,000
- 交通費補助：**遠隔地からの参加者には、交通費の一部を補助します。
＜例＞ 広島：¥5,000 関東・九州地域：¥10,000 北海道・沖縄：¥20,000
- 締 切 日：**2012 年 2 月 20 日（返信用紙で FAX してください）

【 プログラム内容 】

- 開 会 礼 拝：**李 清一（在日韓国基督教会館＜KCC＞館長）
- 聖 書 研 究：**岡本拓也（日本基督教団部落解放センター、南住吉教会牧師）
- シンポジウム：**「東日本大震災とその取り組みから見えるもの」
コーディネーター：後藤 聡（教団・梅花教会牧師）
- ①許 伯基（ほ・べっき：NCC 書記、在日大韓・つくば東京教会牧師）
- ②池住 圭（日本聖公会・東日本大震災被災者支援いっしょに歩こうプロジェクト・スタッフ）
- ③川上直哉（東北 HELP 事務局長、日本基督教団・仙台市民教会牧師、）
- ④内藤新吾（日本福音ルーテル稔台教会＜松戸市＞「浜岡原発を考える静岡ネットワーク」役員、
「原子力行政を問い直す宗教者の会」事務局）

発 題：

- | | |
|----------------|---------------------|
| ①「釜ヶ崎・路上生活者」問題 | 大谷隆夫（教団・摂津富田教会牧師） |
| ②「新・入管法」問題 | 金 成元（KCC 主任幹事） |
| ③「農業・TPP」問題 | 星野正興（教団・松崎、南豆教会牧師） |
| ④「沖縄」の現況 | 金 永秀（沖縄キリスト教学院大学教授） |
| ⑤「三里塚」の現況 | 永井 満（日本自由メソヂスト教会牧師） |

閉 会 礼 拝：今給黎真弓（日本バプテスト連盟牧師）

声明文担当：飛田雄一（神戸学生青年センター館長）・原田光雄（日本聖公会牧師）・岡本拓也（教団・部落解放センター、南住吉教会牧師）

プログラム

	3月18日（日）	3月19日（月）	3月20日（火）
8：00			
9：00		朝 食	朝 食
10：00		聖 書 研 究	全 体 討 論 声明書採択
11：00		発 題 ① 発 題 ②	
12：00			～ 解 散 ～
1：00		昼 食	
2：00		発 題 ③ 発 題 ④ 発 題 ⑤	
3：00			
4：00			
5：00		受 付	分 科 会
6：00	開 会 礼 拝 オリエンテーション		
7：00	夕 食	分 科 会 報 告	
8：00	シンポジウム	懇 親 会	
9：00			
10：00	自 由	自 由	

第 20 回 NCC-URM 全国協議会 申込用紙

(2012年3月18日～20日)

FAX 番号 : 06-6718-0988

★宿泊・食事表に ○ × を記入してください。

	朝食	昼食	夕食	宿泊
3月18日(日)	---	---		
3月19日(月)				
3月20日(火)		---	---	---

★分科会をお選びください（第1希望は1、第2希望は2）。

①	「釜ヶ崎・路上生活者」問題	
②	「新・入管法」問題	
③	「農業・TPP」問題	
④	「沖縄」の現況	
⑤	「三里塚闘争」の現況	

※ 2012 年 2 月 20 日までにご返信ください！

名 前 () 所 属 ()

連絡先（ ）

メール・アドレス ()